

## 鈴木 達治郎(スズキ タツジロウ)

**現職:** 長崎大学 核兵器廃絶研究センター(RECNA)副センター長・教授

1951年大阪生まれ。75年東京大学工学部原子力工学科卒。78年マサチューセッツ工科大学プログラム修士修了。工学博士(東京大学)。専門は原子力政策、科学技術社会論。MIT エネルギー環境政策研究センター、同国際問題研究センター、(財)電力中央研究所社会経済研究所、東京大学公共政策大学院客員教授などを経て2010年1月から2014年3月まで原子力委員会委員長代理、2014年4月 RECNA 副センター長に就任。2015年4月より2019年3月まで同センター長、2019年4月より現職。国際核物質専門家パネル(IPFM)共同議長、核廃絶を目的とする科学者グループ「パグウォッシュ会議」評議員。アジア太平洋核不拡散・軍縮リーダーシップネットワーク(APLN)理事。2017年衆議院原子力問題調査特別委員会アドバイザーボードメンバー。2019年-2021年に日本軍縮学会会長。主要著書:「核のない世界への提言:核物質から見た核軍縮」(富塚明、鈴木達治郎監訳、法律文化社、2017年、RECNA 叢書2号)、「核兵器と原発」(講談社現代新書、2017年)、「核の脅威にどう対処すべきか:北東アジアの非核化と安全保障」(鈴木達治郎、広瀬訓、藤原帰一編著、法律文化社、2018年、RECNA 叢書3号)。「こんなに恐ろしい核兵器①②」(鈴木達治郎、光岡華子、2018年、ゆまに書房)。「第三の核時代」(吉田文彦、鈴木達治郎、遠藤誠治、毛利勝彦編著、2021年、Kindle版、RECNA)

